

授業科目名	体育実技	教員名	後藤芳郎	免許・資格との関係	小学校教諭	必修
					幼稚園教諭	必修
					保育士	必修
授業形態	実技	担当形態	単独		こども音楽療育士	
科目番号	KEN102	配当年次	1年次前期	卒業要件	小幼コース	必修
単位数	1単位				幼保コース	必修
科目						
各科目に含める必要事項						
一般目標	<ul style="list-style-type: none"> ・生涯にわたる健康づくりの基礎を身に付ける。 ・各種の運動を楽しむことで体力の維持・増進を図り、心身ともに健康で豊かな学生生活を実現する。 					
到達目標	<ol style="list-style-type: none"> (1) 各種運動の楽しさを味わい、自己の体力向上や増進を図る態度を育てる。 (2) ゲームや練習を通して、運動の特性に応じた技能等の能力を身に付ける。 (3) ペアやチームで、めあてに向かって協働する姿勢を育てる。 					
ディプロマ・ポリシーとの関係	本講義は、学科のディプロマポリシーに掲げる「5. 教育実践力を身につけている、6. 教科・教職に関する基礎的・応用的知識を身につけている。」を育成する科目として配置している。					
授業の概要	各種の運動やスポーツを楽しむことで、体力の維持・増進を図っていくことを実践していく。卓球・バレーボール・バドミントンを中心に運動能力の向上を図る。学習者それぞれがリーダーシップを発揮し合い、主体的に運動とかかわる場づくりに努める。授業形態は、実技とする。					
履修条件・注意事項						
授業計画	<p>第1回：授業への取組みに関するオリエンテーションとグループ編成の在り方（目標（1））</p> <ul style="list-style-type: none"> ・運動実践と健康及び準備運動等に関する基本的な事項について理解する。 ・卓球の楽しみを知り、次回から第6回までの卓球練習及びゲームのためのペアやチームをつくる。 <p>第2回：卓球のゲーム構造とラケットの選択と持ち方の基礎①、安全に配慮した卓球台やネットの準備・片付け（目標（2））</p> <ul style="list-style-type: none"> ・フォアハンドの体の動かし方の基本を身に付ける。 ・プレースタイルに合った道具（シェークハンド・ペンホルダー）の選択と型を知る。 <p>第3回：卓球基礎②としての素振り、スタイルづくり、簡易ゲーム（目標（2））</p> <ul style="list-style-type: none"> ・自分のプレースタイル（カット型・ペンドライブ型）に応じた基本姿勢としての素振りを練習する。 <p>第4回：卓球基礎③としての素振り、バックハンド素振り、簡易ゲーム（目標（2））</p> <ul style="list-style-type: none"> ・バックハンドの素振りを加える。シェークハンド・ペンホルダーのバックハンドの素振りを知り、ゲーム化する。 <p>第5回：卓球基礎④としてサービス練習と簡易ダブルスゲーム。（目標（3））</p> <ul style="list-style-type: none"> ・サービス練習とレシーブ練習を取り入れ、相手チームを変えながら正規ルールของเกมに慣れる。 <p>第6回：卓球基礎を応用したゲーム（目標（1））</p> <ul style="list-style-type: none"> ・今もっている力で、相手を変えながら正規ルールでダブルスゲームを楽しむ。 <p>第7回：バレーボール基礎①のグルーピング、ゲームの楽しさ理解、安全で能率的なネットの準備・片付け（目標（1））</p> <ul style="list-style-type: none"> ・拮抗するグループ編成とし、ゲームの本質をとらえたバレーボールの楽しさを考える。安全で能率的なネットの準備・片付けを確認し、ためしของเกมを楽しむ。 <p>第8回：バレーボール基礎②としてパス・レシーブ練習とルールを工夫したゲーム（目標（2））</p>					

	<p>・オーバーハンドパス、アンダーハンドパス、サーブ練習とルールを工夫してのゲームを楽しむ。</p> <p>第9回：バレーボール基礎③として3弾攻撃練習とルールを工夫したゲーム（目標(2)）</p> <p>・あわてて相手コートにボールを返さず、レシーブ・トス・スパイクの攻撃パターンをつくるようにする。</p> <p>第10回：バレーボール基礎を応用して正規ルールを意識したゲーム（目標(3)）</p> <p>・連携を大切にしながらつなぐバレーボール、攻めるバレーボールを楽しむ。</p> <p>第11回：ほぼ正規のルールによるゲーム（目標(1)）</p> <p>・みんなの気持ちを一つにして、これまでに身に付けたチーム力を発揮する場づくりをしながらほぼ正規のルールでゲームを楽しむ。</p> <p>第12回：バドミントン基礎①としてゲームの構造、ネットの立て方、ラケットの持ち方等（目標(1)）</p> <p>・2人組をつくる。ダブルスのゲームの仕方を理解する。ラケットの握り方・振り方を1人で、及び2人組で練習する。</p> <p>第13回：バドミントン基礎②としての足の運び、素振り、簡易のダブルスゲーム（目標(2)）</p> <p>・コート上における体の動かし方の基本を身に付ける。移動の仕方に慣れる（前、後、左、右、斜め前方、斜め後方）、効き足の使い方を知る（フォアハンド、バックハンド）、上半身の柔らかい動きも併せて考える。簡易ゲームを楽しむ。</p> <p>第14回：バドミントン基礎③としてのサービス、レシーブ、ダブルスゲーム（目標(3)）</p> <p>・サービスを確実に入れる。サービスレシーブを確実に返す。正規のルールでゲームを楽しむ。</p> <p>第15回：バドミントン基礎を応用したダブルスゲーム（目標(1)）</p> <p>・正規のルールで、2人で気持ちを一つにしてリーグ戦を楽しむ。</p> <p>定期試験：試験期間中に実施</p>
学生に対する評価	<p>服装の準備(40%)、定期試験(60%)で評価する。</p> <p>なお、レポート・答案等の提出物へのフィードバックについては、以下の方法等による。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・コメントを記載して返却する。 ・授業またはオフィスアワーに、口頭で行う。 ・答案例を配布する。
時間外の学習について	<p>（事前・事後学習として週2時間以上行うこと。）</p> <p>事前学習：それぞれのグループで、現在の力量に応じた練習・ゲーム内容を検討し、練習・ゲーム計画を作成する。</p> <p>事後学習：事前学習で準備した計画をもとにした実際の活動を振り返り、次時の計画に発展させる。</p>
教材にかかわる情報	<p>テキスト：特になし</p> <p>参考書：</p> <p>参考資料等：その都度必要に応じて手作り資料を印刷・配布する。</p>
担当者からのメッセージ	特になし
オフィスアワー	授業の前後の時間（メール等でアポイントを取ること。）
備考	